



## 入試「失敗学」…先輩たちの「やらかし」集②



今日は伝え聞いた他校の事例も含めた入試「失敗学」。いわば「他山の石」編。

### 【失敗事例4・他山の石】「名前だけ書けば受かると言われたのに…」

[直接原因] : 「名前だけ書けば受かるといわれて、『名前だけを書いた』」

[根幹原因] : 情報の信憑性に対する対応

これは前校長の水野先生からの情報。ある私学の「部活動推薦生徒」の事例。水野先生は今もその生徒の名前を覚えている程の衝撃を受けたという。部活動推薦の生徒がある関係者（ラグビーのクラブチームのコーチ等）から、「部活動推薦だから心配するな。名前だけを書けば受かる」と言わされた。そして、入試でそのように「本当に名前だけ」を書き、不合格だったという例。

強いバックアップのたとえの表現で「名前だけ書いたら…」と言う。そして、私学の場合、建学精神や学校経営方針に基づいて多様な合否判定基準があるのも事実。「部活動推薦」もその一つ。他には「理事長（理事会）推薦枠」「卒業生推薦（ファミリー推薦）」

等もある学校もある。高校の建学者の子弟や卒業生の子弟は優遇するというのだ。



でも、これらの場合も「名前だけ書いたら…」などということはある得ない。なぜなら、私学も公立高校と同様に公的資金が投入されている（国の補助や京都府のあんしん就学支援がその例）公的教育機関であり、公平性が入試では求められるからだ。当然、合否判定は「入試委員会」や「合否判定委員会」等での合意制が取られ意思決定される。

その「合否判定会議」では「0点等は審議対象」になる。いくら「強化部活動の部活動推薦」であっても、「サッカーチーム員」「野球部員」等である以前に「高校生」である必要があるのだ。その「高校生としての資質」の中に、「校則や法律というルールを守れる」や「高校の学習を進められる基礎学力」がある。そのため、部活動の強い押しである部活動推薦であってもそれらが伴わなければ不合格となるのは当然の結果。

こうした情報に振り回された事例は「知っている先生がいる」という「理事長（理事会）推薦枠」である。大学入試での詐欺事件として報道されるのもこの推薦関係。「寄付をいくらすれば…」「つなぐために費用が…」という口実で詐欺がなされる。保護者を含めて、こうした情報に振り回されている。「○○先生を知っている…」「ここだけの話…」という他人の名前を使い公に言う人ほど信用できないものはない。「虎の威を借る狐」の故事成語はまさにこのこと。

「卒業生推薦」は公平性のため制度として公開されているが、何万人の卒業生が対象。当然公立には「部活動推薦」「理事長推薦」「卒業生推薦」などはない。そして、公正性の確保のために、公立高校では「(簡易)開示請求」ができるのだ。

### 【失敗事例5・他山の石】「あっ、高校がない…」

[直接原因] : 「高校への経路を誤る」

[根幹原因] : 「下見」や「シミュレーション」の不十分さ



これも前校長水野校長からのレポート。それは栗陵中の校門前で起こった。栗陵は校門前で学校長自らが「おはよう」と声を掛けておられる。それは大由里校長も水野校長も同じ。

それは「前期選抜」の日に起こった。いつものように水野校長は校門前で挨拶をしていた。すると、外環状線の方から、他校の制服を着た中学生らしい生徒がやってきた。あきらかに道に迷っている感じ。声を掛けると「**桃山中学の3年生で前期選抜で東稜高校に行きたい**」のだが道に迷ったという。

水野校長はすぐに「東稟高校への行き方(高畠町まで戻っての行き方)」を教えたという。そして、すぐに桃山中学校に電話を入れましたと言った。



ここからは推測である。たぶんその生徒は下見(学校説明会への参加)はあまり十分でなかったのだろう。さらに、十分でないゆえ、地下鉄・醍醐駅で下車した後、通勤客の流れに合わせて、高畠町を外環状線沿いに南へ直進したのであろう。醍醐駅からの人の流れは醍醐支所方面に流れる。さらに、受験生が多くいればその流れについていくこともできたのだろうが、東稟へ生徒の多くは小野駅で降りる。たまに醍醐駅を使う生徒も見かけるがそう多くはない。こうした中で不安な面持ちで「学校らしきもの」を探しながら、「グラウンド」「校舎」を見つけ、校門の方向へきたのだろう。時間帯は8時10分台。だから、その生徒は入試には十分間に合ったようだ。

## 入試日シミュレーション

このように「意図しなくても」失敗は起こります。それだけにシミュレーションをしておくことが大切になります。私学と公立前期選抜に備えて、以下の内容を宿題として

- ① 交通経路(交通手段・乗り換え場所等)
- ② 何時に、どこから乗るのか
- ③ 誰といふのか
- ④ 何時に着く予定か

考えておいてください。もしも、降りる駅を間違えたり、乗り間違えたりという失敗や事故、トラブルなどに対応するために、必要な情報ですでのお願いします。

## 志願校のHPは常にチェックする

昨日、京都学園の「健康チェックシート」がFaxで届いた。「氏名」「中学校名」「受験番号」を記入し、「**当日朝の検温**」と「**1週間前から当日朝までにおける健康状態**」を記録し持参(提出)する、提出する。

WEB登録校の指示は登録したEメールで配信されたりする。「遗漏がないように」、Eメールだけでなくプリント配布の二つの方法を多くの学校は取っている。「廣学館」は郵便を使い、「文教」や「京都学園」は学校を通じての配布も依頼されてきた。

「WEB登録校」、「手書き願書校」を問わず、志願校のHPは常にチェックする習慣をつけてほしい。「**面接の中止**」「**時程の変更**」や「**コロナ感染防止対策**」に伴う「**持ち物の変更**」等はこうしたHPに掲載される。

「健康観察カード」「マスク着用」「予備のマスクの持参」「手指の消毒」等を追加指示している学校が多い。「防寒着」の使用について、指示を変更した学校もある。**志願校のHPは常にチェックすることをしてください。**

